

4 牧田地区地域づくり協議会



1

牧田地区地域づくり協議会って？

牧田地区地域づくり協議会は、平成19年8月から「住んでよかった牧田」の実現を目指して、地域住民が話し合いながら地域づくり活動进行、平成22年5月22日に設立総会を開催して本格的な活動に入りました。

牧田地区住民と地域団体、行政の連携・協働により、安全で安心な誰もが誇れる『住み良いまち牧田』の実現を目指し、地域づくり活動に取り組んでいます。

2

牧田地区地域づくり協議会の主な取組

牧田地区地域づくり協議会は4つの部会で構成されています。1つ目に、地域教育部会は、定五郎翁顕彰事業などの地域教育に取り組んでいます。2つ目に、地域安全部会は、牧田地区防災訓練や防犯パトロールなど、地域の安全確保に力を入れています。3つ目に、地域交流部会は、地域の親睦を深める事業としてまきた弁天山まつりなどの運営を行い、住民の郷土愛が深まるように尽力しています。4つ目に、地域福祉部会は、高齢者の生活支援サービス「ペガサスマきた」を立ち上げ、地域の高齢者の送迎などを行っています。

各部会が精力的に活動を行い、住みよいまちの実現を目指しています。



▲前川定五郎資料室



▲防犯パトロール



▲ジョギング・ウォーキング大会



▲前川定五郎出前授業



▲牧田地区防災訓練

3

今回紹介するのは「まきた弁天山まつり」！

まきた弁天山まつりは、毎年10月第3日曜日に鈴鹿ハンター南側の弁天山公園で行われる牧田地区のメイン事業です。ステージ発表やゲーム、抽選会などの催しが開催され、こどもからお年寄りまでたくさんの地域の方が参加します。このまつりを開催する趣旨は、「地域の交流、親睦を深め、コミュニティ活動を活性化させるとともに、誰もが誇れる魅力あるまちづくり」を目指すことで、地域交流部会の「まきた弁天山まつり委員会」が中心となって運営しています。



▲人気イベントの抽選会

4

どんな課題や思いがあるの？



まきた弁天山まつり委員長
さかた みつぐ
阪田 実次さん

まきた弁天山まつり委員長の阪田実次さんに話を伺いました。

まきた弁天山まつりは、地域の防災・防犯の実現と、地域住民の親睦を深めてもらいたいという思いで、平成24年にスタートしました。事業が始まった当初から、避難所訓練も兼ねて炊き出しを行っており、現在でも継続しています。また、来場された方に楽しんでいただけるように、当日までに、催し物や屋台、当日のスケジュールや担当割などについて、何度も話し合いを重ねます。

今後の課題は、若い年代の担い手や参加が少ないことです。まきた弁天山まつりを継続し、地域の交流を深めるためにも、さまざまな世代からの参加を促していきたいです。

5

まきた弁天山まつり2024で行った工夫

地域づくり研修生とまきた弁天山まつり委員会が協働で実施した取り組みとして、6月に地域の方に対して、まきた弁天山まつりに関するアンケート調査を実施しました。屋台やゲーム、抽選会の景品など地域のニーズを把握し、アンケート結果を反映させることで、来場者に喜んでもらえるように工夫しました。

また、まつりのポスターやプログラム、抽選券も協働で作成しました。



▲プログラムとポスター

6

まつりに参加した人の声



30代男性

家族で参加しました。玉入れやホールインワンなど、子どもから大人まで楽しめるゲームがあって楽しかったです。



40代女性

毎年子どもと参加しています。牧田地区の他の自治会の方と交流ができて良かったです。消防団の放水・煙体験が楽しかったです。